

経済システムの転換と革命的变化という現実

黒田インターナショナル

黒田 毅

中小小売店は、大手の品揃えと価格への対応はできない。新しい技術製品への対応は、全て小売店への要求である。これら社会現実と基準は、唯一企業における市場参加を可能とする。

これらは IT システムにおける効率性ととも、その正しい利益性を市場原理において要求する。市場原理という拡大は、その全てへの新しい現実への参加を有するのである。

その先端研究や技術、システムは、中小零細事業者においても、時代の潮流であり、否定することは不可能である。

時代変化への対応は、唯一企業における存続の条件である。これら全ての企業家の理解は、必ず共有するのである。既存現実は、唯一永続を与えないと。

これら新しい産業革命は、爆発的な変化を有するのである。それらは完全な既存システムの破壊と崩壊なのである。

これらは明らかに新しい世界という現実が、存在するのである。またこれら技術革新と変化は、ドラッカーのネクストソサエティを現実化するのである。

これらへの対応が唯一企業の存続を可能とするという理解は必ず正しいのである。

世界の先端大手企業は、その全てがこれら企業転換を現在において行なっているのである。

これらは社会システムの転換が、IOT における変化とともに存在するのである。これらは新しい現実をビジネスが共有することである。

これらは既存現実がもはや通用しないということなのである。これら新しい現実がその黒船として全ての現実を奪い尽くすことが存在するのである

これらは技術革命と産業革命を同時に有するため、その変化とダイナミズムは、はるかに大きいのである。